

# 2017年度 関東甲信越地区セミナー 「周術期における全身管理」アンケート集計結果

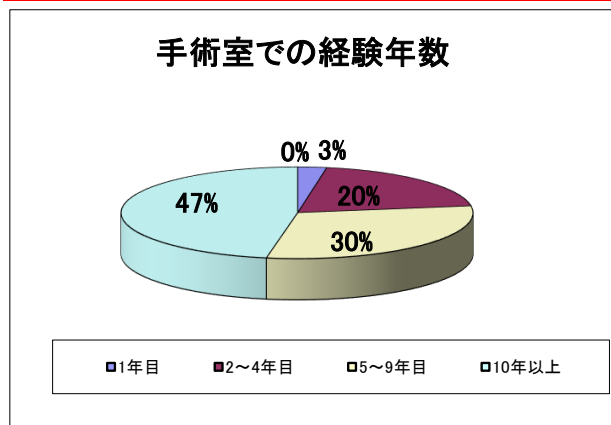
日時: 2017年 12月 2日(土)

場所: 大崎ブライトコアホール

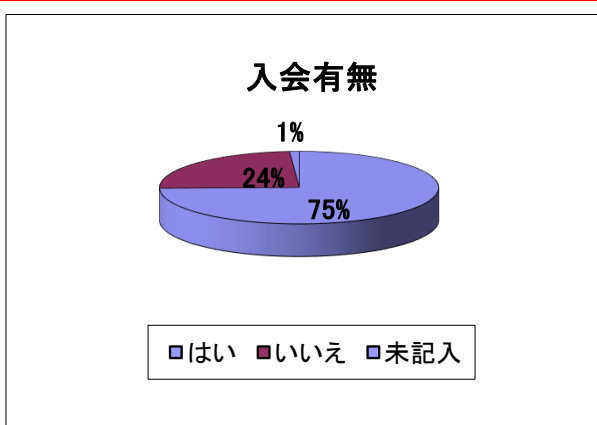
参加人数: 306名 (会員 239名、非会員 67名)

アンケート回収数 268枚 88%

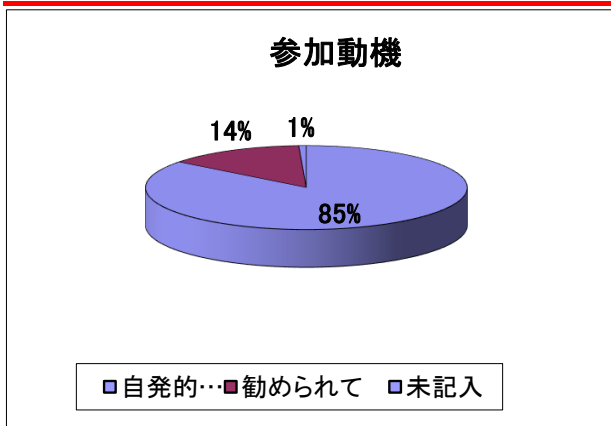
## 1. 手術室での経験年数



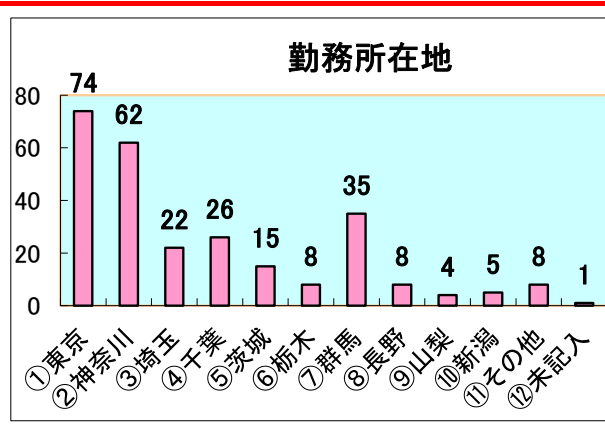
## 2. 日本手術看護学会に入会されていますか



## 3. 当セミナーへの参加動機について



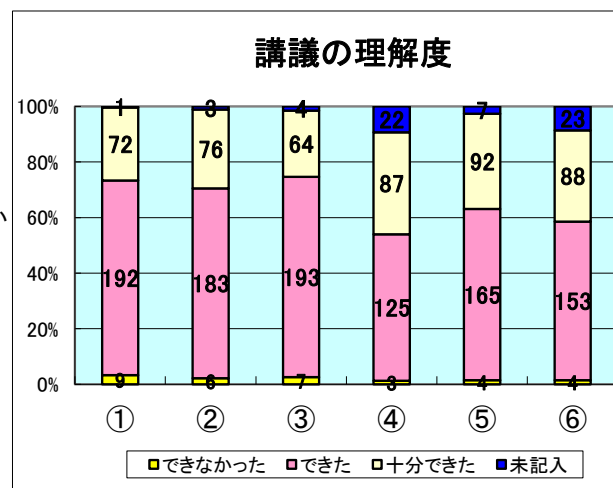
## 4. 勤務先所在地



## 5. 講義内容の理解について

理解出来ない～十分理解できたの3段階での回答

- ①合併症と麻酔(糖尿病・喘息・悪性高熱)について理解できましたか
- ②大量出血の対処法について理解できましたか
- ③周術期の抗血栓療法について理解できましたか
- ④術前管理(ERAS)について理解できましたか
- ⑤気道確保(DAM)について理解できましたか
- ⑥鎮痛薬と術後鎮痛法について理解できましたか



---

## 6. 今回の研修内容は満足でしたか。

---

満足： 141人

不満足： 33人

未記入： 25人

両方に記入： 3人

### 満足

- ・普段の業務で疑問に思っていたことを解決できた。日々の業務に活かしていきたい
- ・実際の事例を交えながらの説明で分かりやすかった
- ・合併症と麻酔の所での管理や対処についてよく理解できた。喘息に対応するセットは自分の所でも取り入れたいと思った。術前管理と気道確保についても知識を深められた。
- ・術中に発生する可能性があることや薬剤について学ぶことができ、資料も今後活かしていけると思った
- ・医師からの視点をわかりやすく説明があり、とても分かりやすかった
- ・周術期によくあるDM・喘息・出血時の対応などについて改めて理解を深めることができた
- ・大量出血時の対処法について学べ、輸血の種類・タイミングについて振り返ることができた
- ・日ごろ目にしていることでもエビデンスの知識がより深まり、少しでも医師との共通の認識を得ることで安全な周術期の全身管理につながられる
- ・麻酔科術前診察の詳細が知りたかったため、鎮痛剤のことが詳しく知ることができて良かった
- ・今まで理解しているようでもいまち理解しきれていなかったところや、理解できていたところも改めて学習することができて楽しかった。術中のことだけでなく術前から管理することが大切だと再認識できた。Dr.任せではなく、Ns.サイドからもアプローチできることはしていき、麻酔科Dr.と主治医と共有を今まで以上にしていきたいと思った。
- ・アстмаや悪性高熱など一般的な対処法は理解できていても段階や患者の状況に応じた様々な対処法を今まで学ぶ機会がなかったため
- ・周術期管理チームの試験を受けた後だったので、より理解が深まったように思える
- ・ERASはずごく勉強になった。術前術後で病棟との連携につながれそうです
- ・現在病棟勤務しているが、周術期として、病棟→OP→病棟という経過をたどる患者にとって、どちらの状況も関連してとらえることができた内容だった。・病棟ナースとしても知識として必要な内容もありとても満足した。周術期管理チームナースの資格を持っているが、これから試験を受けようとして思っているひとにも良い内容であったと思う。
- ・DM、喘息合併の患者は比較的多く参考になりました。オピオイド、麻薬、NSAIDs、アセトアミノフェンの効果、作用について学ぶ事ができた。
- ・オピオイド＝麻薬だと思っていました。その違いをわかりやすく説明してもらい区別ができました。
- ・鎮痛薬は色々な本や講習会で学んできましたが、さらに詳しい作用機序や現場での話などもあり、新しい知識を得ることができました。
- ・術前情報の共有(麻酔科・看護師)カンファレンスの大切さを実感しました。今後、術前外来への取り組みへの動力となると感じ、安全な手術により患者様の回復への手段のひとつとしてすすめていきたいと思えます。

### 不満足

- ・一つの項目をより深く講義してもらいたいと思いました。
- ・実際の症例に関した内容が少し多いとよかったです。

---

## 7. 今後のセミナー希望

---

- ・高齢者・認知症患者の周術期管理や看護記録
- ・災害時の麻酔、看護師、医師などのチームとしての動き
- ・ICLSの様に、手術中の緊急事態のシミュレーション訓練があると同時に、管理者やリーダー看護師にとって自施設での訓練の組み立てに役立つ
- ・局麻・各科麻酔等麻酔科医がいない時の患者急変の事例と対応
- ・酸塩基・血ガス
- ・器械出し看護についての講義を増やしてほしい。できれば年間の後半にしてほしい
- ・手術室と病棟との継続に繋がる内容のもの(周術期として)
- ・オペ室ナース全員を対象というよりは、エキスパートナース向けのものもあってもいいのでは。
- ・手術における倫理、手術室における看護師の本当の役割
- ・ブロックについて
- ・手術看護倫理

---

## 8. セミナー企画運営についての意見・感想

---

- ・参加証の捺印が面倒、長い列はいかがなものかと。参加証にあらかじめ印を押して、最後に渡してもよいのでは。朝チェックしているのでなりすまは無いと思うので。
- ・近畿地区ではセミナー回数も多いため、スケジュールがあわせやすいと思いました。関東甲信越でもセミナー回数を増やして頂きたいです。
- ・もっと細かいラダー別勉強会。会員が安く研修を受けられる制度は大変よいのだが、毎年内容が変わらず他社の高額なセミナーを受けるしかない、少し今より高くても良いのでバラエティな内容にしてほしい。
- ・会場も広くトイレもたくさんあり、画面も数ヶ所あり見やすいです。
- ・講義が早くおわたら、その分繰り上げて早く終わらせてほしい
- ・交通事情で遅れてくることが想定されていたなら、前から席をつめて着席させるとか改善ができたのでは。あまりにも出入りが多く、最初の講義にまったく集中できずに残念と運営にがっかりした。